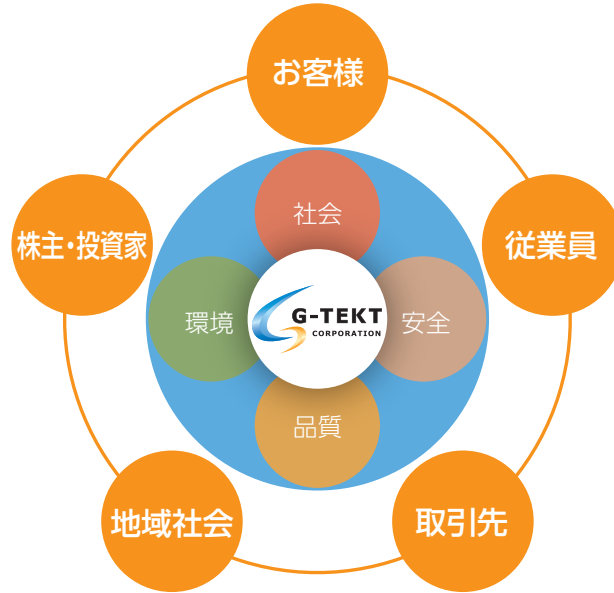


CSR基本方針 

事業活動を通じて社会課題の解決に貢献し、社会と共に持続的な成長を目指す。

ステークホルダーとの関わり



お客様

当社製品の納入先であるお客様に対して、必要な物を必要な時に必要なだけお届けすることで信頼されるパートナーであり続けます。

従業員

人間性尊重の理念のもと、従業員一人ひとりが仕事にやりがいを感じ、いかなるハラスメントも許さない、安心、安全で活き活きとした職場づくりを目指します。

取引先

公正で合理的な方法で取引を行い、当社の生産活動のために欠かすことのできないパートナーとして、互いに尊重し合いながら協力関係を構築します。

地域社会

社会貢献活動への参加等を通じて積極的に地域住民との融合と調和を図り、相互理解に基づく良好な関係づくりを目指します。

株主・投資家

迅速・公平な情報開示をモットーとして、株主・投資家と積極的に対話する機会を設け、より一層の企業価値の向上と適正な株価の形成に努めます。

ステークホルダーの皆様が存在を期待され、信頼される企業であるために、ジーテクトの社員が共有する行動指針として「わたしたちの行動指針」を制定しました。社員一人ひとりが社会の一員として、自動車産業の一翼を担う企業の一員として、自覚を持って行動することを心がけています。

社会からの期待により果たすジーテクトの責任

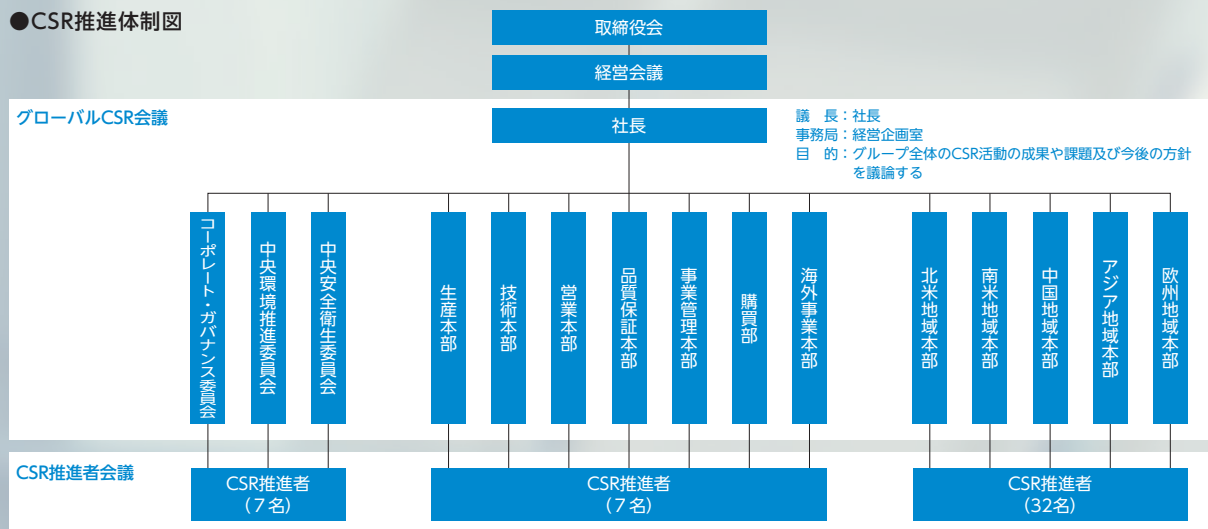
4つの基本領域		7つのCSRテーマに細分化	テーマ	CSR
<p>企業統治の充実により公正で透明な事業活動をする</p> <p>安全で快適な環境により良質製品を提供する</p> <p>人材を尊重し人権配慮と労働環境の改善をする</p> <p>地球環境の保全と地域社会への貢献をする</p>	<p>7つのCSRテーマに細分化</p>	コーポレート・ガバナンス	事業活動の透明性を高め積極的な対応と開示を心がけます。	
		情報管理	機密管理体制を強化し信頼される企業風土を築きます。	
		安全衛生	安全で快適な職場環境を構築します。	
		品質	お客様のニーズを満足する信頼される製品を継続的に提供します。	
		人権・労働	従業員の個性を尊重し、公平・公正で働きがいのある職場づくりに努めます。	
		環境	地球環境の保全を最優先とし、低炭素社会の実現を目指します。	
		社会貢献	地域社会との共生で次世代へ引き継げる社会貢献を継続します。	

ジーテクトグループCSR活動推進体制

ジーテクトのCSR活動推進体制は全社横断組織となっており、国内外合わせて約60名の推進者(責任者、実務者含む)が在任しています。

国内では年2回開催されている「グローバルCSR会議」の他に、「CSR推進者会議」を年4回行い、活動の成果や課題の共有を図ってこれらの会議資料及び議事録は海外推進者にも展開され、共通の課題として取り組む仕組みとなっています。

●CSR推進体制図



グローバルCSR会議

年2回開催されるグローバルCSR会議では、国内外の経営層が集まり、CSR活動の成果や課題、それを踏まえた今後の活動方針などを議論する場となっています。

昨年はグローバルCSR会議にて外部講師による経営層向けCSR勉強会を開催しました。また、CSRの社内浸透度を高めるために事務局が主導となり、「ジーテクト社内CSR活動勉強会」を行っています。CSRやジーテクトのCSR活動について理解を深める機会となっており、今後も計画的に実施してまいります。



経営層向けCSR勉強会の様子



経営企画室 室長
菊池 英次

CSR担当役員に聞く

2014年、これまで個別に行われてきた環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の活動について、CSR基本方針を掲げ、4つの領域・7つのCSRテーマに対応したCSR活動をスタートさせました。2015年には、この活動をCSR報告書にまとめ非財務情報として発行し、今年で4年目となります。この間、CSR活動をより密接に事業活動と両立させ、企業価値向上に取り組むべく、CSR自主点検を開始、経営陣によるマテリアリティの特定、全社での取り組みとしての規程・体制の整備等を行ってきました。今後も活動における弱点項目を見出しその改善をすると共にステークホルダーの皆様の理解を深める活動を推進したいと思います。このCSR報告書もコミュニケーションツールとして、さらなる充実を図り、CSR活動が広く皆様に理解される様努めてまいります。